

# 報告書

開催日時	平成 28 年 7 月 29 日 19:00~20:32	
開催場所	桂林公民館	
出席議員	(4 班) 溝口、坂本 (盛)、居川、三苫、高倉	
	班 長	溝口
	司 会 者	坂本 (盛)
	記 録 者	居川
参加人数	11 名	
主な要望 ・ 提 言 等	○A氏	
	1. 議会として若い世代の目標家族構成数は。	
	家族構成の具体的計画は挙げていない。夫婦間で産まれる子どもが少ないため、合計特殊出生率を 2.1 以上に持っていきたい。	
	2. 目標家族構成に従い予算は決めると考える。家族構成も目標も無くて予算を決める事は出来ない。支援はこれでいいのか。	
	子どもの年齢別人口に基づいて予算を積算するため、家族構成で予算は積算しない。	
	3. ベーシックインカムとして、一人 5 万円を月々頂ければ良い経済活動を行うので要望する。	
	○B氏	
	1. 生産性を望める若い方への賃金底上げをお願いしたい。また、合計特殊出生率の目標が凄く高いので、実現可能な数値を求める。そして、子どもを産むのにお金は必要であり、提言に関しても古いと感じる。議会が独自で提言を考えたのか。	
	議会独自に提言して実現したものもある (中小企業支援センター、農業後継者支援事業、営農指導強化事業)。若い世代の結婚・出産・子育てに関しても、継続して行われている既存事業もあるが、議会の提言を織り込みながら事業計画を作成した内容である。	
	2. 少子化対策は高校生までは無償化、2 人目の教育費無料等々の全国でもインパクトのある事業を行えば、他の事業が縮小されても良いと考える。また、観光に関しては発想の転換も行ってほしい。	
○C氏		
1. 出合いについてだが、全国的にどこも一緒だ。結婚となると相手の家族との同居にハードルがある。韓国等も出生率は少ない、ある意味外国人との結婚も視野に入れるべきではないか。お節介お婆さん、お		

じさんの奨励を行うべきである。それと空き家対策として、もう少し予算を付け住める様にすべきではないか。島根県海士町や益城町の取組を参考にしてはどうか。町に対しての発展的な議論が必要である。

要望として受け止める。そして海士町の例は存じ上げている。日田市としての課題や魅力もあるため意見を聞きながら検討していきたい。

○D氏

1. 議会報告会の開催時間で19時は困る。出席できない人もいるため再考をお願いしたい。日田市の地方創生に関する総予算はいくらか。議会改革特別委員会の改革として、自治会連合会で議員削減を要望して実現したが、これからの議会改革はどの様に議論されているか。産業建設委員会関係でインバウンド関係に1,200万円の予算が付いているがどんな議論されたのか。教育福祉委員会で就学援助の総数は何人いるか拵んでいるか。空き家対策で900件が多少の整備だけで利用出来るようだが、どんな理由で活用するのか。少子化についても市政懇談会で直接聞きたいが、安倍総理が1億人を維持するというがその理由は。

就学援助の要保護・準要保護就学援助事業で小学校に約4,200万円、中学校に約3,800万円の計約8,000万円の事業費と、加えて教材費援助も行っているため、かなりの額は補充している。

2. 就学援助費8,000万円の金額は大きい、予算を委員会でしっかり議論をして欲しい。先進地視察を行うなら、ちゃんと一般市民に分かる様に報告して欲しい。

○E氏

1. 中小企業や農業等、色々な分野にビジョンを示すのは良いが、働いても農業で食えない状況である。農業も含めてだが、就職までしっかりとした土台を作る事が必要であり、口ではなく実行を。農業は兼業ばかりである。

農業の話だが、5年に1回行われる農業センサスでも毎年減っている。後継者を作るには、農業で生活出来る体制にならなければならない。単に補助金だけ出すのではなく、我々も考えていかなければならない。林業は新しい考えとして、若者は冬期に林業、夏期は別の仕事で一定程度の生活を維持しているため、働き方を検討していきたい。